

やぎ支部だより

2020年3月号
広島医療生協 八木支部
支部長 山下 873-2758
理事 寺本 873-3128
健康まちづくりセンター
大町 879-8124

～災害についてもっと考えよう～



2月19日（水）みんなで老後を考える会（略称かがやく会）の恒例行事の神田山荘レクを行い約 80 人の参加で盛況でした。

前半の学習講演では「これからの災害にどう向き合うか」と題して国土問題研究会理事・防災士の越智修二さんの話を聞きました。近年多発している各地の被害状況の説明では自然的因子より人為的因子の方がより高いということや、それに対する行政の体制が脆弱であることなどよくわかりました。日本は山が多いことと雨も世界基準より格段に多く、活断層による地震も起きる災害大国であるにもかかわらず治山治水などの対策が非常に遅れていることを指摘されました。

特に八木地区では山そのものが昔から崩れやすい地質であるといわれていたにもかかわらず都市化の煽りで住宅不適地に開発が進んだことが大きな原因であるということでした。また最近いろいろな状況の中で「自助」とか「共助」などが使われているもののこれは行政の都合のいい責任転嫁で公助こそが重点的にやらねばならないことを強調されました。また災害に際しては最大の方策をとり、たとえそれが空振りであっても決して無駄ではないと言われたのが印象的でした。これからどのような災害があるかは計り知れず、それは明日にでも起こり得ることでその対処についてもわかり易く説明され今後の生活により示唆をいただいた納得のいく講演でした。

午後は食事のあとそれぞれがゆったりとした時間を過ごして天気も良く心地よい1日でした。



「NPT 再検討会議学習会」の報告



2月21日（金）午後、“ほっこり”において5年に1度あるニューヨークでのNPT（核拡散防止条約）再検討会議に参加する3人を送る学習会を行いました。

はじめに、広島原水協事務局長の古田文和さんに会議の意義について伺いました。この会議は全会一致が原則ですが、2005年、2015年は「合意」できていません。今核兵器禁止条約が賛成122、反対1、棄権1の大差で採択され、2月10日現在署名国81、批准国35で、50か国が批准すると90日後に発効されます。日本は米国に従って唯一の被爆国なのに後退しています。

これまで参加された歯科の水戸さん、毘沙門台の伊藤さん、職員で総務部の

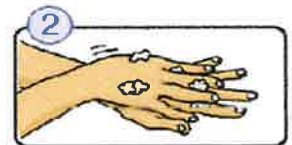
佐藤さん、医労連からの佐々木さんが発言され終わりました。



コロナウイルス予防

正しい手洗いを!!

手洗い前に爪は短く切り、時計や指輪は外しておきましょう。



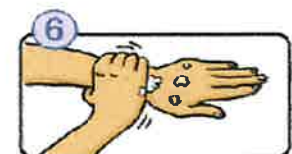
流水でよく手をぬらした後、石鹸をつけ、手のひらをよくこする。

手の甲をのばすようにこする。



指先・爪の間を念入りにこする。

指の間を洗う。



親指と手のひらをねじり洗いする。

手首も忘れずに洗う。

石鹸で洗い終わったら、十分水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよくふき取って乾かします。

厚生労働省資料